

八王子市下水道事業経営戦略（素案）【概要版】



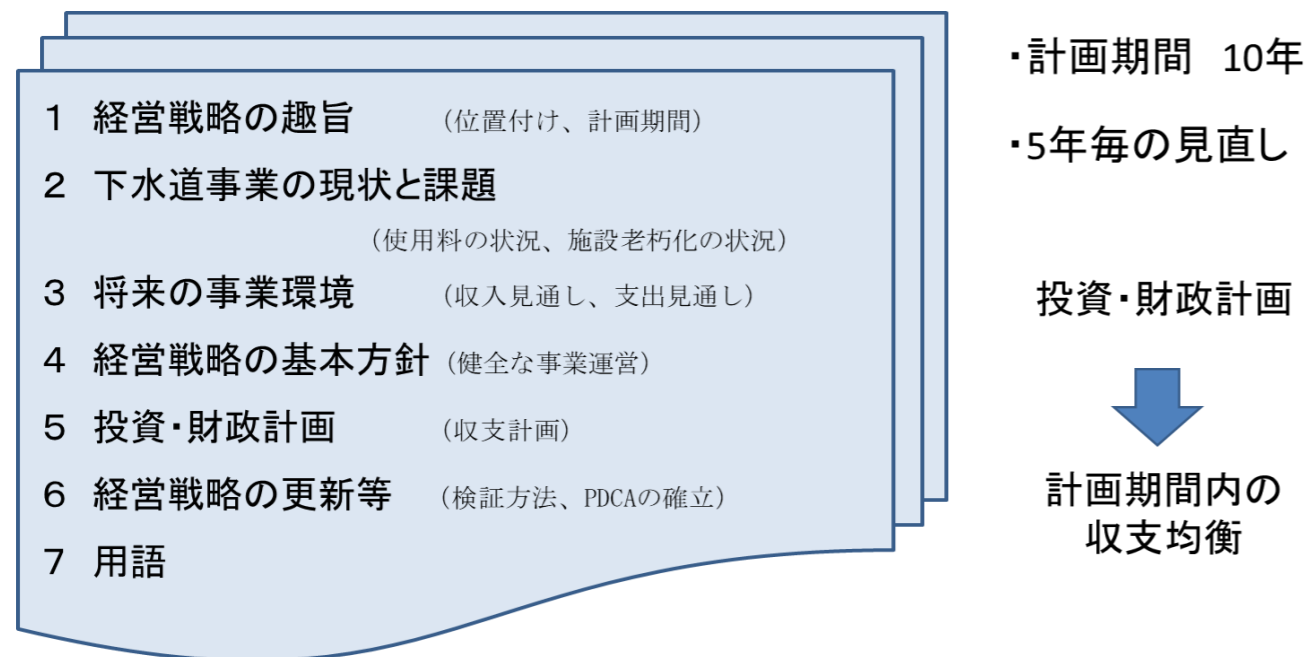
策定の趣旨

下水道事業における今後の経営環境は、施設の老朽化に伴う大量更新期の到来による費用負担や、人口減少に伴う料金収入の減少により厳しさを増すことが見込まれることから、より一層の計画的、合理的な経営を行うことが必要です。

国は、生活に欠かせない重要なサービスを提供する下水道事業が、将来にわたってサービスを安定的に提供できるように、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定を要請しています。

これまででも計画的に事業を進め、安定した経営に努めてきましたが、更なる経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に資するため、本戦略を策定します。

経営戦略の概要



基本方針

持続可能な下水道事業を実現するため、3つの基本方針に取り組みます。

- 1. 事業運営の効率化** 下水道使用料の検証、経費回収率の向上、業務の効率化、基準外繰入金の抑制、公債費の負担軽減
- 2. 投資の最適化** 老朽化対策、未普及箇所への対応、民間活力の活用、新たな技術の導入
- 3. 危機管理の強化** 危機管理マニュアルの運用、危機管理における下水道施設の管理

投資・財政計画（収支計画）

全体の見通し

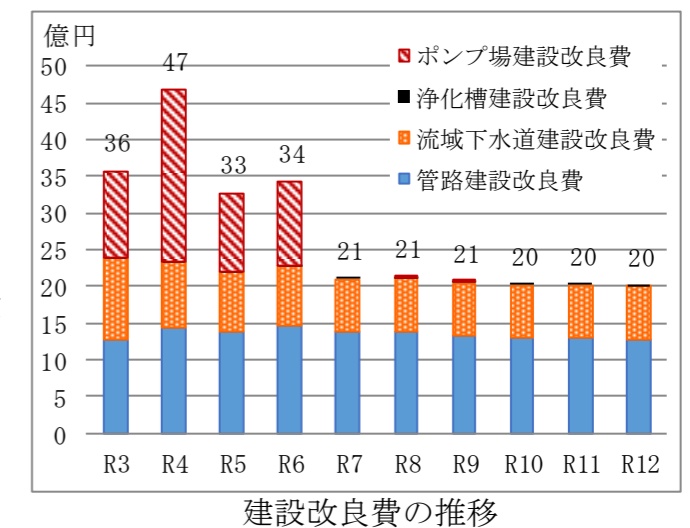
下水道使用料は毎年1～4千万円の範囲で減少していくと見込んでいます。また、維持管理費はやや増加傾向にあるものの、減価償却費や企業債利息は減少傾向にあり、計画期間中の損益は黒字を維持していきます。

現行の使用料体系による試算を行った結果、収支は均衡している状態にあります。

投資試算

北野ポンプ場整備に伴う建設改良費は、令和3年度から令和6年度までに57億円を見込んでいます。

管路の更新にあたっては、下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な改築・修繕によりライフサイクルコストの低減と平準化に取り組みます。



財源試算

下水道使用料は人口減少などにより計画期間中に3億円減、一般会計繰入金は基準外繰入金削減に取り組み、21億円減少の見込みです。

建設改良費の財源として、企業債の借入を予定していますが、毎年度の新規借入額が元金償還額を下回るため、企業債残高は206億円減少する見込みです。

投資・財政計画（主要な項目の推移）

	令和3年度	令和12年度
下水道使用料	79億円	76億円 (3億円減)
一般会計繰入金	40億円	19億円 (21億円減)
企業債元利償還金	65億円	41億円 (24億円減)
企業債残高	533億円	327億円 (206億円減)